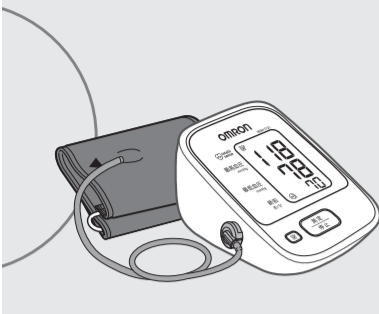


取扱説明書

HEM-7121 オムロン 上腕式血圧計



All for Healthcare

OMRON

このたびは、オムロン商品をお買い上げいただきありがとうございます。

■安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

■本書は、いつもお手元においてご使用ください。

■本書は品質保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。

■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

1887367-7D

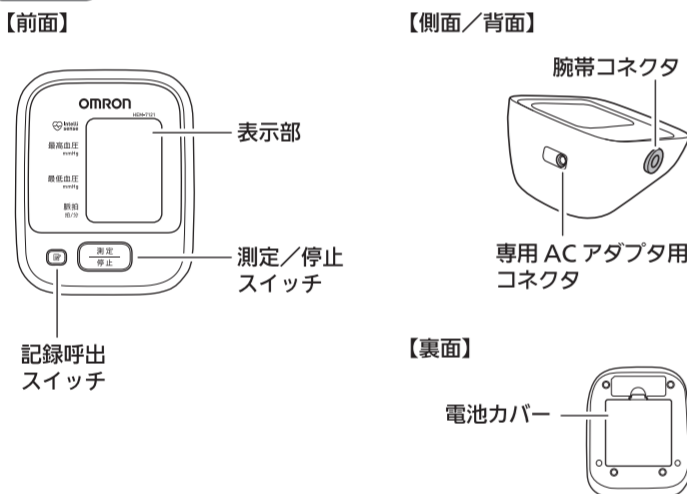
1. 入っていますか？

箱の中には次のものが入っています。不足のものがありましたら、オムロンお客様サービスセンター（☎0120-30-6606）までご連絡ください。

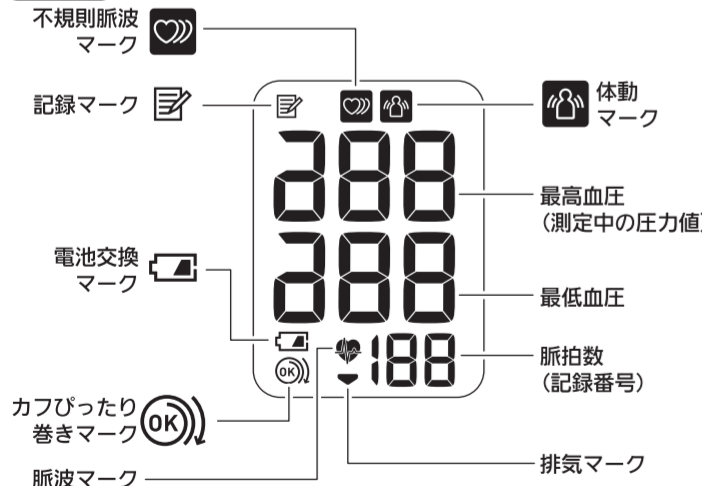
- 1 本体
- 2 腕帯（型式 HEM-CR24）
- 3 お試し用電池（単3形アルカリ乾電池4個）
- 4 取扱説明書（本書：品質保証書付き）
- 5 医療機器添付文書
- 6 EMC技術資料

2. 各部の名前

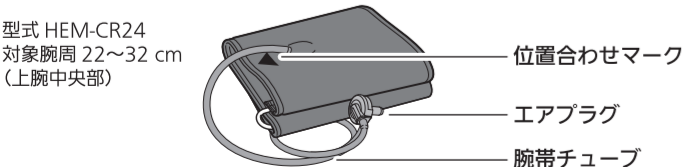
本体



表示部



腕帯



- ・腕帯は消耗品です。腕帯の寿命は1日6回（朝/晩各3回）の測定で1年程度です（弊社試験による）。
- ・血圧を正確に測るために、早めの交換をおすすめします。
- ・空気漏れが生じたら、別売品をお買い求めください。（☎「16. 別売品」）

3. 安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。ここに示した内容は、商品を安全に正しくご使用いただき、使用者や他の人々への危害、財産への損害を未然に防止するためのものです。

- 警告、注意について
 - ⚠ **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負うことが想定される内容を示します。
 - ⚠ **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う、または物的損害*の発生が想定される内容を示します。
- *物的損害とは、家屋や家財、および家畜やペットに関わる拡大損害を示します。
- 図記号について
 - 記号は強制（必ず守る）を示します。 例：!
 - ⊘ 記号は禁止（してはいけない）を示します。 例：⊘

⚠ 警告	
一般的なことについて	けがや治療中の腕では測らないでください。 ・症状の悪化につながる場合があります。
点滴、輸血をしている腕に腕帯を巻かないでください。 ・症状の悪化につながる場合があります。	⊘
ACアダプタ（別売）の取り扱いについて	備んだ電源コードや電源プラグは使用しないでください。 ・感電、ショート、発火の原因になります。
コンセントや配線器具の定格を超えての使用、交流 100V 以外での使用はしないでください。 ・タコ足配線などにより定格を超えると、火災の原因になります。	⊘
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 ・感電やけがの原因になります。	⊘

⚠ 注意	
一般的なことについて	測定結果の自己判断はしないでください。治療は医師の指導に従ってください。 ・自己判断は、症状の悪化につながる場合があります。 ・糖尿病、高脂血症、高血圧症などにより、動脈硬化が進むと、末梢循環障害を引き起こし、手首と上腕の血圧値に大きな差が見られることがあります。
重度の血行障害や血液疾患のある方は、医師の指導のもとで使用してください。 ・圧迫により一時的に内出血が発生することがあります。	!
異常が発生したら、腕帯を腕から外してください。 ・圧迫により一時的に内出血が発生することがあります。	!
乳幼児や自分で意思表示ができない人には使用しないでください。 ・事故やトラブルの原因になります。	⊘
腕帯を必要以上に加圧しないでください。 ・腕がうっ血したり、しびれたりします。	⊘
血圧測定以外の目的で使用しないでください。 ・事故やトラブルの原因になります。	⊘
専用の腕帯以外は使用しないでください。 ・正しく測れません。	⊘
血圧計の近くで携帯電話を使用しないでください。 ・誤動作の原因になります。	⊘
本体や腕帯を分解したり改造したりしないでください。 ・正しく測れなくなります。	⊘

電池の取り扱いについて	電池の ⊕ ⊖ 極を正しく入れてください。 ・発熱、液漏れ、破裂などにより、本体の破損やけがの原因になります。	!
指定の電池を使ってください。新しい電池と古い電池、銘柄や種類の違う電池を同時に使用しないでください。 ・発熱、液漏れ、破裂などにより、本体の破損やけがの原因になります。	!	
長期間（3か月以上）使用しないときは、電池を取り外してください。使用済みの電池はすぐに取り外し、すべて同時に新しいものと交換してください。 ・液漏れなどにより、本体の破損やけがの原因になります。	!	

ACアダプタ（別売）の取り扱いについて	電源プラグはしっかり根元まで差し込んでください。 ・感電、ショート、発火の原因になります。	!
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。 ・電源コードの断線やショートにより、火災や感電の原因になります。	!	
電源コードの取扱いは以下の項目に注意してください。 ・傷つけない ・破損させない ・加工しない ・無理に曲げない ・引っ張らない ・ねじらない ・使用時は束ねない ・重い物を載せない ・挟み込ませない ・感電、火災、故障の原因になります。	!	

電源プラグのほごりはふき取ってください。 ・ほごりに湿気が加わると、感電、ショート、発火の原因になります。	!
長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。 ・絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	!
お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。 ・感電やけがの原因になります。	!
ACアダプタは、別売の専用用品以外は使用しないでください。 ・火災や感電の原因になります。	⊘

お願い	
腕帯や腕帯チューブを無理に折り曲げないでください。腕帯は、エアプラグを持って抜いてください。本体に強いショックを与えたり、落としたりしないでください。腕帯を腕に巻いていないときは、加圧しないでください。	⊘

4. 準備をする

- 1 **本体裏面の電池カバーを外す**
つめを押して持ち上げます。
- 2 **電池を入れる**
ばねの出ている方が ⊖ です。
- 3 **電池カバーを閉める**
電池カバーはカチッと音がするまで閉めます。

- **電池交換について**
- 🔋 点灯：電池残量が少なくなっています。
- 🔋 点灯：電池残量がなくなりました。同じ種類の新しい単3形アルカリ乾電池4個と交換してください。
- ・電池は、本体の電源を切ってから交換してください。
- ・使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導に従って処分してください。

🔴 **重要**
単3形アルカリ乾電池で約300回測れます。（室温23℃、170mmHg加圧、腕周25cmの場合）付属の電池はお試し用です。300回以内で切れることがあります。

5. 腕帯を巻く

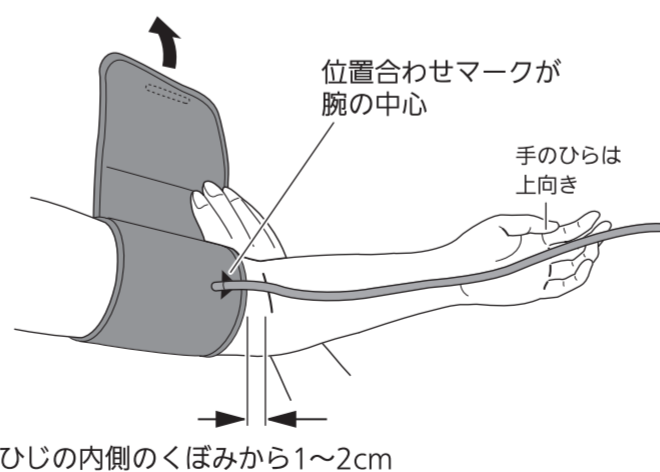
- ・腕帯を正しく巻きましょう。
- ・トイレは先にすませましょう。
- ・寒すぎたり暑すぎたりしない部屋で測りましょう。
- ・素肌か、薄手の肌着などの上から測ってください。
- ・厚い衣服を着ているときは、腕まくりをせずに、脱いでから測ってください。

- 1 **腕帯のエアプラグを腕帯コネクタにしっかりと差し込む**

外れかけていると正しく測れません。

- 2 **左腕を腕帯にとおす**
腕帯チューブが、手のひらの先に向くようにします。位置合わせマークが、中指の延長線上にくるようにします。

- 3 **腕帯の端を外側に引っ張りながら腕帯の位置を決める**

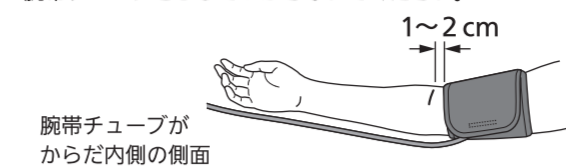


ひじの内側のくぼみから1~2cm

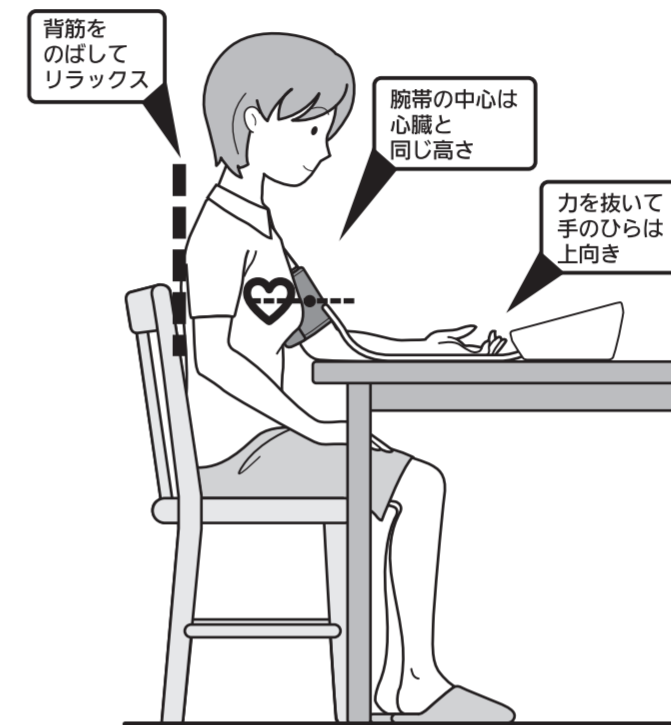
- 4 **面ファスナーで固定する**
腕と腕帯の間にすき間ができないように、腕の形に沿ってぴったり巻いてください。腕帯が斜めになったり、腕帯チューブの上から固定したりしても、測定結果に影響はありません。

右腕で血圧を測るとき

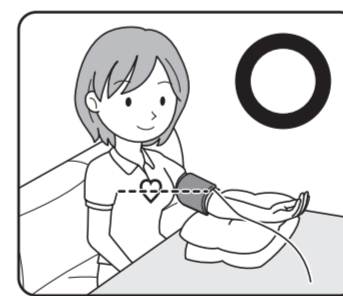
腕帯チューブをひじでつぶさないでください。



6. 正しい姿勢を確認する



正しく測れない例

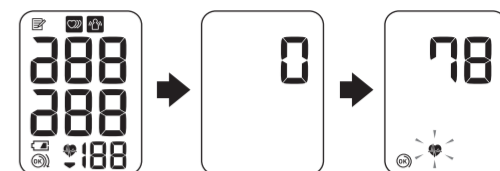


腕帯の中心が心臓より低いときは、ひじの下にクッションやタオルを置いて、高さを調節してください。

7. 血圧を測る

- ・最高血圧が210mmHgを超えると予測されるときは、「8. 手動加圧で測る」を参照してください。
- ・測定中に腕帯を触らないでください。
- ・続けて測るときは、間隔を空けてください。

- 1 **測定/停止スイッチを押す**
電源が入り、自動的に測定が始まります。



測定を中止したいときは、測定/停止スイッチを押して、電源を切ってください。腕帯の空気が抜けます。

- 2 **測定結果を確認する**
測定結果は自動的に記録されます。（☎「9. 測定記録を見る」）

カフびったり巻きチェック

腕帯がびったり正しく巻かれているときに点灯します。

腕帯の巻き方がゆるいときに点灯します。電源を切って、腕帯を巻き直してください。

腕帯の巻き方がゆるいときに点灯します。電源を切って、腕帯を巻き直してください。

体動マーク

測定中にからだを動かしたりすると点灯します。正しく測れていませんので、もう一度測ってください。

不規則脈波マーク

測定中の脈波の間隔が不規則なときに点灯します。正しく測れていないことがありますので、安静にして、もう一度測ってください。頻繁に点灯するときは、医師にご相談ください。

3 腕帯を取り外す

- 4 **測定/停止スイッチを押して、電源を切る**
電源を切り忘れても約2分後に自動的に電源が切れます。

8. 手動加圧で測る

最高血圧値が210 mmHgを超えると予測されるときや、エラー表示「E2」が頻繁に出るときは、手動加圧で測ってください。

・手動加圧をする前に「5. 腕帯を巻く」「6. 正しい姿勢を確認する」をよく読んでください。

- 1 **腕帯を巻いて測定/停止スイッチを押す**
加圧が始まります。

- 2 **加圧が始まったら、もう一度、測定/停止スイッチを押し、そのまま押し続ける**

- ・手動加圧では、299 mmHgまで加圧することができますが、必要以上に加圧しないでください。一時的に内出血が発生することがあります。
- ・300 mmHg以上加圧するとエラーになります。

- 3 **圧力値が、予測される最高血圧値よりも約40~50 mmHg高くなったとき、測定/停止スイッチを離す**
減圧が始まり、測定を開始します。

- 4 **以降の操作は「7. 血圧を測る」の手順2~4を参照してください。**

裏面に続きます

